

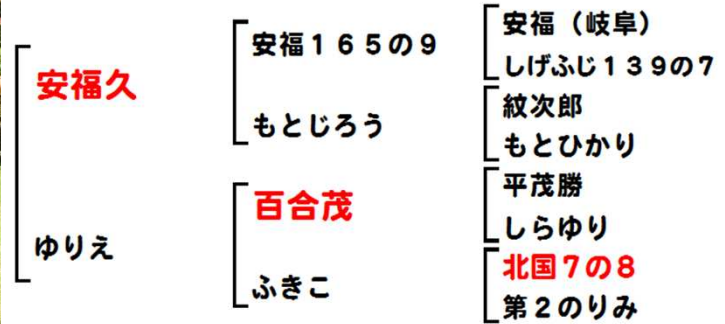
熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2019

ひさしげくに

黒毛和種種雄牛「久茂国」の選抜



問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました

問 本牛の特徴は？

答 脂肪交雑が歴代最高の成績であり、ロース芯面積にも優れていることから、肉質の改良に貢献することが期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(4等級以上)
去勢 6 頭	28.5	480.1	61.7	7.9	2.7	74.3	7.27	83.3% (5/6)
雌 18 頭	28.7	427.5	61.4	7.5	2.6	74.8	7.11	83.3% (15/18)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	526kg
ロース	67cm ²
バラ厚	8.4cm
BMSNo.	11
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	程度	SBV
枝肉重量	小さい						大きい	0.70
ロース芯面積	小さい						大きい	2.49
ばらの厚さ	小さい						大きい	0.66
皮下脂肪	厚い						薄い	1.22
脂肪交雑	少ない						多い	2.41

標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる